

仰る通りですわ
皇帝陛下♡

お望みなら
学院にて施術を…

つまり若返りの
秘術は実現したが

代償として女性に
なるのだな？
…ルバルトよ

フバロ三世 ♂『赤炎帝』

クラス:皇帝
筋力:C+(老いによる能力低下)
王の素質:A(カリスマ指導者)
ソウル属性:善

夢:帝国の長き繁栄

僭越ながら陛下!!
彼女がルバルト殿だと
証明できた
としても

本当に若返りなのか
そして安全なのか
判断はできません!

シュハル ♂
クラス:執事

じつは陛下と
同年代の方が

陛下の為ならと
秘術の安全性を証明して
くださいましたの♡

レンダク
…か?

おお♡
よくわかったの♡

ヤッ



陛下!?
この者は

七剣将レンダクじゃ
古くからの盟友であり
何度も命を救われておる



昔のそちの面影を
感じる...!
若返りは事実なのか

ぬしは今倒れては
ならぬ国の護り手♡
故に人肌脱いだわけよ

若返りの効果も
安全性も
この通りじゃ♡



我が友の献身に応じ
そちの魔法を信用する

褒美に宮仕えを許そう
宮廷魔術師として
そちの望む研究を
好きなだけするとよい



身に余る光栄...

ですが学院にて
未来ある生徒達を
育てることこそ

わたくしの幸せ♡
一番の望みなので
ございます...♡

ルバルト殿!
陛下からの
褒美であるぞ



当時の余は継承争いも
無縁な四男坊。こやつと共に
冒険の旅をしたものよ

よい
シュハル

彼：彼女の好む褒美を
与えたと思っただが：
余は人を見る目すら
衰えていたとは！

やはり
余は老いた

若者こそ国の宝よ
それを育むことを
誰が咎められよう！

余には優秀な
息子達がいた

安心して帝国の
未来を託せる若者達：
だが——皇位を譲る
式典の最中じゃ

堂々と襲来した
邪竜ファバナール
によって——

三皇子の惨死により
甥たちは邪竜と
魔神に恐れをなし
腰抜けになった

帝国の未来と繁栄！
そして民の安全の為！
余はまだまだ皇帝を
続けなくてはならぬ！！

余は若返り
帝国を盤石な
ものとする！！

老いて力を失った
この宝剣ベルムルも
再び炎が灯ろうぞ！

憎き邪竜を必ず討ち！！
帝国の未来と民の希望を
取り戻すのじゃ！！

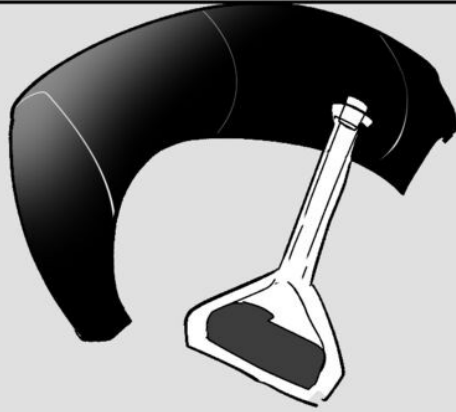
臣下一同！！
陛下について
まいります！！

その後
魔術学院にて――

眠っている間に
終わりますので♡
それでは
陛下♡

に♡

わたくしが
改良した
『新魔転職魔法』♡



邪竜の欠け角・邪竜の血
ファナールから頂いた体の一部！
邪竜の暴虐性と強欲性…
そして竜の血による驚異的な
不死性が付与されるでしょう！

覚醒した魔核によって
転職素材から受ける
影響が跳ね上がる…♡

ゴト…



淫魔の絹髪

長きに渡り男の精を吸い続け
絹の如き白さと滑らかさを得た髪♡
同化した者は常に淫魔の情欲と♡
男の精への執着が生まれます♡

さあ♡憎き仇敵と
一つになり――
生まれ変わるのです♡

ズ

ズ

ズ

ズ

変身時の記憶を
陛下は思い出す
ことはできません

しかし魂には
刻み込まれます♡

魔転職成功!

クラス:皇帝

→【魔職】邪竜魔皇

性別:♂→♀

筋力C+→A+(竜の膂力)

生命力D→A+(竜の生命力)

呪い獲得

■の血(不明)

●の劣情(不明)

魔神様のかという
決して抗えない
快感と悦びが——♡

目が覚めると
余の身体は
小さき少女へと
若返っていた

余は皇帝
フバロIII世!!
秘術により
若返った!!

若返りの秘術?
あれが陛下?

絹みたいなの
白い髪が
神々しい!!

帝国の繁栄の象徴!
その宝剣の炎を見ろ!!
赤炎帝の復活だ!!

宝剣ベルムルにかけて誓う!!
余は皇帝として生涯をかけ!!
帝国に繁栄と平和をもたらすと!!

我が愛しき息子達の仇!!
邪竜を必ずこの世から滅し
帝国は永遠であると示そうぞ!!

皇帝万歳!

帝国万歳!



あれ…?
なんじゃ…?

民からの喝采…
喜ばしい…じゃが

はまふい

我を讀える声は…
こんなに心地よい
ものじゃったか?

トロ…

その白い髪は
淫魔の髪そのもの♡
徐々に浸透して…

脳みそが淫魔の
快楽に溶かされて
正常な思考は
もうできない♡

あの様子♡
邪竜と融合した
影響が出てる…♡

陛下を快楽の下僕♡
浅ましき暴君に
変えてあげますね♡

竜は傲慢で強欲♡
縄張りの支配と財宝が
何よりの快楽…♡

陛下はだんだん
心が憎き邪竜そのものに
染まるんですよ♡

はまふい

はまふい

ふくちゃん♡

女の子になったら♡
女の子を楽しもっ♡
オシヤレをして…♡

いや余は
邪竜を殺しに
行く故

楽しむ気はない
おしやれなんぞに
うつつを抜かす暇は

キザるん♡

いけませんわ
陛下！

今は乙女の身体
無碍に扱うのは
女として許せません!!

それに陛下は
幼き体。
威厳の為に…

ドクン

おお…
これは…

何故か無性に
惹かれるのお…♡

きらびやかな
宝飾品など
いかがでしょうか♡

呪い発現
邪竜の血
宝物に対して異常な
執着と興味を持つ

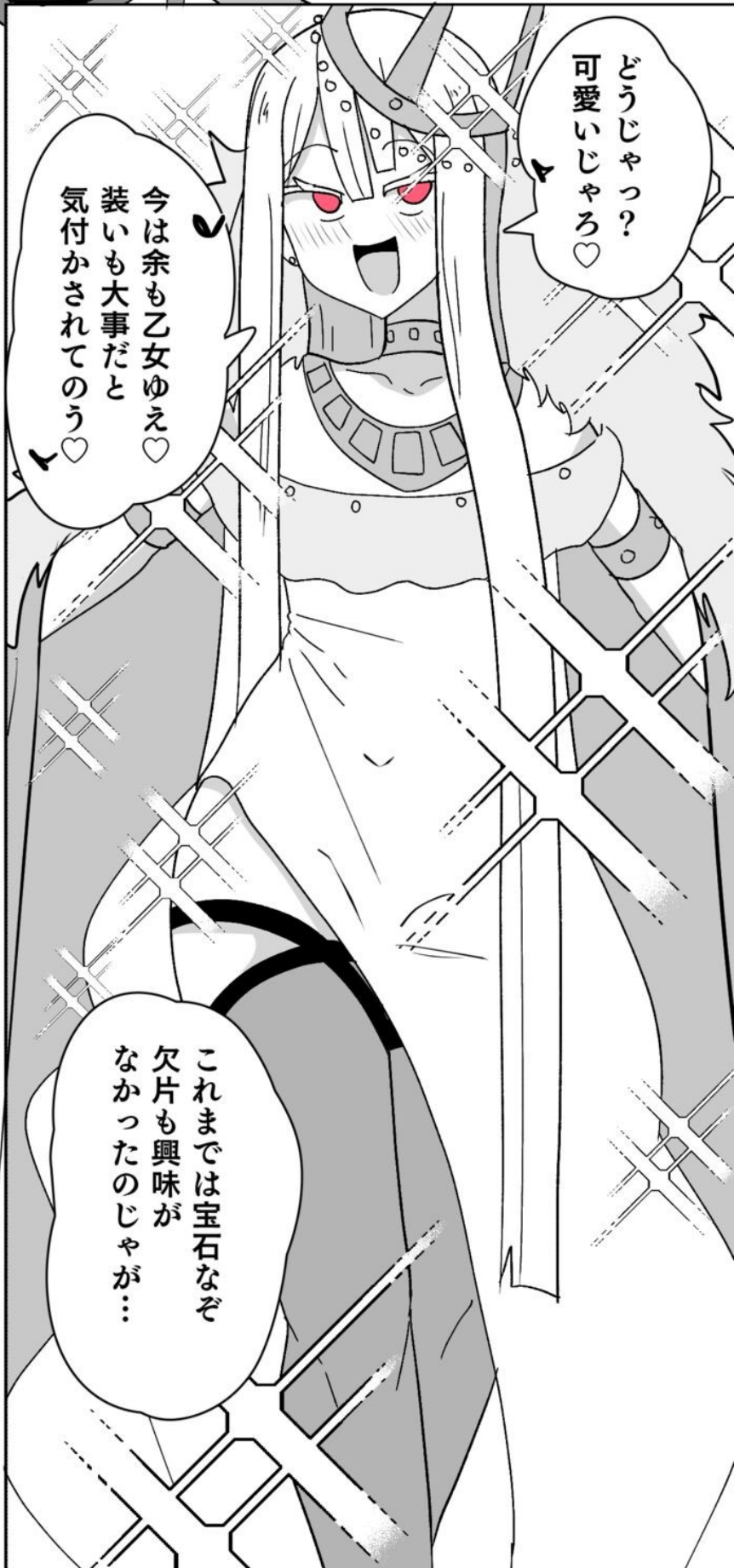
その装いは!?

—陛下!?



♪♪♪
若返ると感性も
若くなるそうじゃ♡

宝石のきらきらが
こんなに愛おしく
魅力的とは—



どうじゃっ?
可愛いじゃろ♡

今は余も乙女ゆえ♡
装いも大事だと
気付かされてのう♡

これまでは宝石なぞ
欠片も興味が
なかったのじゃが…



邪竜の討伐軍を
編成中に何の
おつもりですか!!

身体と心が若返え
ろうが皇帝としての
立場をお忘れでは!?

もらった宝石
全部没収
されたのじゃ…

あんなに綺麗だった
のに…余の宝石…

かわいいそゝ

まあ怒られるように
わざと宝石ぎらぎら
にしたんだけど

彼はまだ陛下の変化に
お気づきでないご様子

いや…あやつは
宰相の息子でな
父譲りの鋭い指摘を
するものじゃ

皇帝が間違いを犯す時
臆さず諫言ができる
忠臣いてこそ
帝国は盤石じゃからな

殿方にうら若き乙女の
身の回りの世話是不健全ですわ
一旦遠ざけては――

僭越ながら♡
今の陛下を元男性…あるいは
少女としか認識できぬ
『今の彼』に
正しい諫言ができますか？

『今のあやつ』では
おぬしを常人の枠に
収めてしまうかもしれぬ

陛下は古いと性別を
超越した特別な存在♡

常人の思考で律すれば
御心に悪うございます

その心すでに
以前と違うことは
わかっておろう

この身体の勝手を
知るわしらに
任せてはくれぬか

『新たなご自分』に
慣れ親しむことが
大切♡

それができるまで
討伐は延期に
すべきですわ♡

た…確かにのう♡
じゃがシユハルは
反対し—

シユハル様も我々と同じ
女性になれば
わかって頂けますわ♡

陛下の新たなご趣味への
理解も深まり…
同性ゆえに遠ざける必要も
ございませんもの♡

よ…よし♡
そちも信頼できる
忠臣ゆえ任せよう♡

仰せのままに♡

邪竜を確実に殺す為にも
まずは今の『新しい自分』を
知らねばならんからの♡

じゅーい

—陛下!!
討伐軍中止の命とは
なにごとです!

それに私が執事の任から
外される理由を
お聞かせ願えますか!

女帝の寝室に男が
入ることへの反対の
声が大きくてのう

案ずるな
大きな選択じゃが
解決策はある

そちも秘術を受け
余と同じ女性に
なることを許す

さすればこの沙汰は
取り消されよう
男ではなくなるが
どうする?

陛下の正しき治世への
助力が叶うのならば

この身が男か女かなど
些細なことで
ございます!!

見事な忠誠心じゃ!!
そちはいずれ帝国初の
女性宰相に任命しよう♡

ではルバルト嬢たちと
共に学院へ行くのじゃ!!

マイロード♡
ただいま帰還
いたしました♡

おお!
見違えたのう♡



あは♡

魔転職成功!
♂→♀
クラス:執事
→プレデバトラー
種族:人間→マンティコア(魔族)

ニヒヤ

お預かりしていた
陛下の宝飾品です
女帝たるもの絢爛で
あるべきですから♡

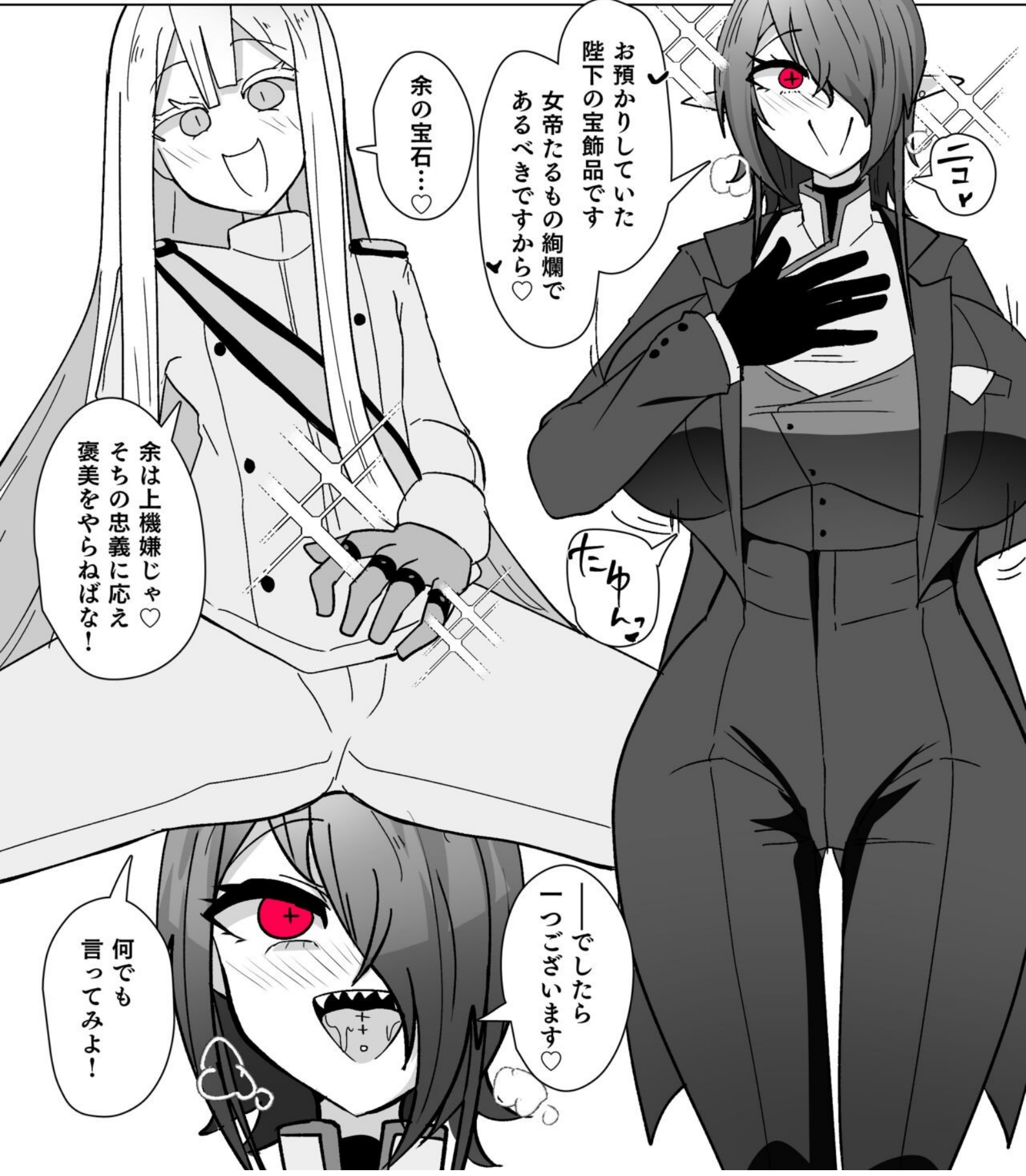
余の宝石…♡

た〜ゆ〜ん♡

余は上機嫌じゃ♡
そちの忠義に応え
褒美をやらねばな!

—でしたら
一つござります♡

何でも
言ってみよ!



僭越ながらレイプ
させて頂きまあす♡

はっ♡

陛下がロイヤルまんこ
おっぴろげで
誘いやがりますからあ♡

レイプ妄想で
ずっとメスイキ
しっぱなしなので…
おっほ♡イク♡♡



はっ♡

はっ♡

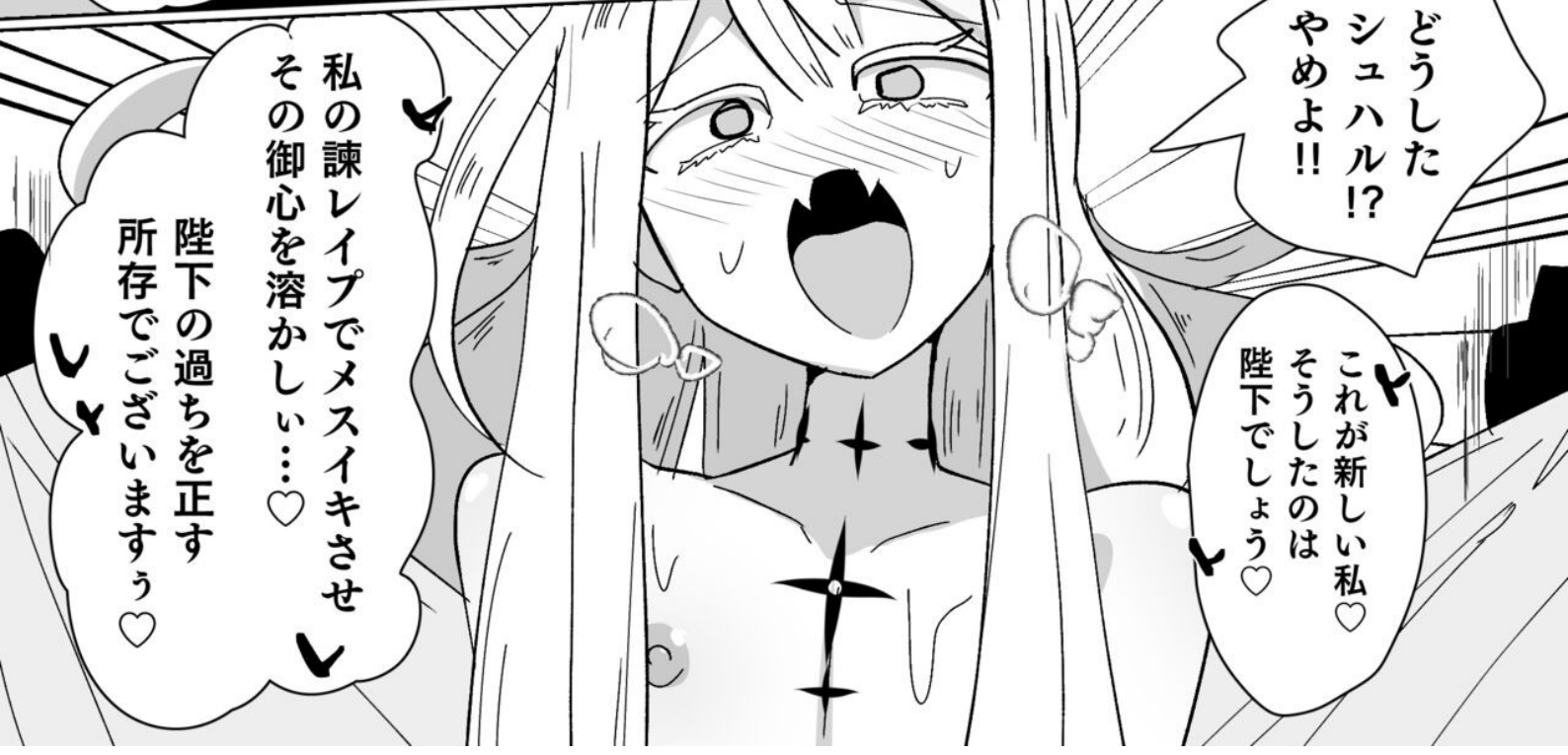
白磁の肌♡絹の髪♡
ならおまんこは何味か
確かめさせてくださいませえ♡

どうした
シュハル!?
やめよ!!

これが新しい私♡
そうしたのは
陛下でしょう♡

私の諫レイプでメスイキさせ
その御心を溶かしたい♡

陛下の過ちを正す
所存でございますう♡



あれから
全てを
聞かされた…

余は魔神の力で
若返り皇帝を
続けていたのだ

己の誘惑に負け
忠臣も魔族に捧げ
今では余も魔族♡

これが知れたら
帝国は崩壊する…
それだけは避け
ねばならぬ♡

マイロード♡

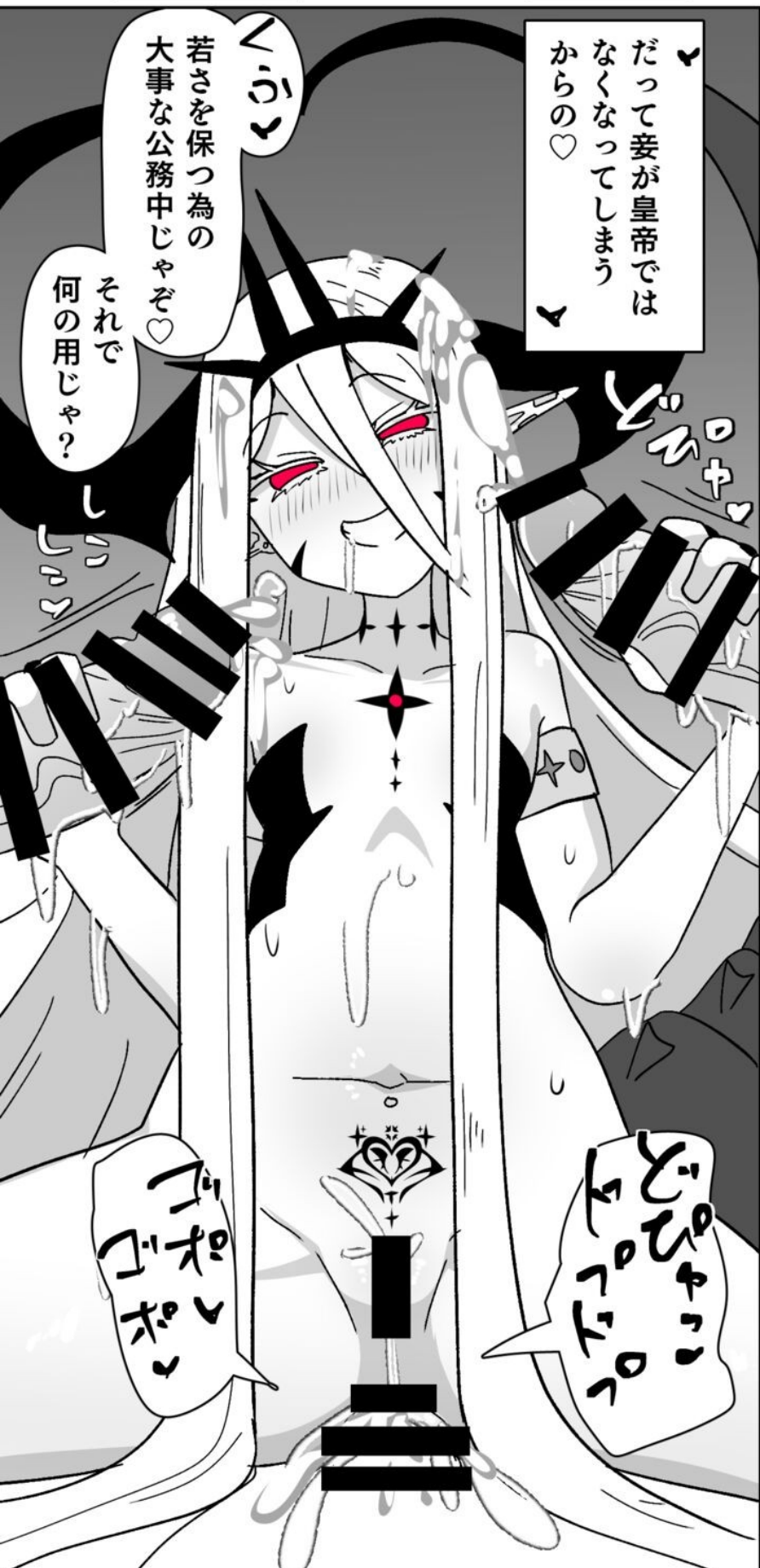
お楽しみ中
失礼いたします♡

だって妾が皇帝では
なくなってしまう
からの♡

くっ♡

若さを保つ為の
大事な公務中じゃぞ♡

それで
何の用じゃ？



諸侯より貢ぎ物が届きました♡

陛下の好みの美物宝飾品そして…

健康で整った若者たちです♡

まさか…陛下…？

ま…魔族…!?

くふ♡か弱き愚民共♡

貴き妾の正体を知り驚いたかのう♡…知ったなら死刑じゃ

じゃが妾の心は寛大…♡

妾は若者の精液で永遠に若く美しくいられるのじゃ♡

よって良質な精液を出し続けられる者はぎーめんぺつととして生かしてやろう♡♡

くふ♡でも妾のロイヤルまんこに挿入したなら即斬首じゃ♡

跡継ぎなんぞ産まれたら妾の地位が脅かされるので♡

はっ♡

おっ♡

トク…♡

ゴホ♡

はっ♡



はあ〜♡くっ♡
これじゃこれ♡
愛おしいの♡♡

やめっ…

そう言っつて妾で
ガチ勃起しとる
ではないかあ♡

国の指導者に
性的興奮する
重罪人♡



シッポ
シッポ
シッポ

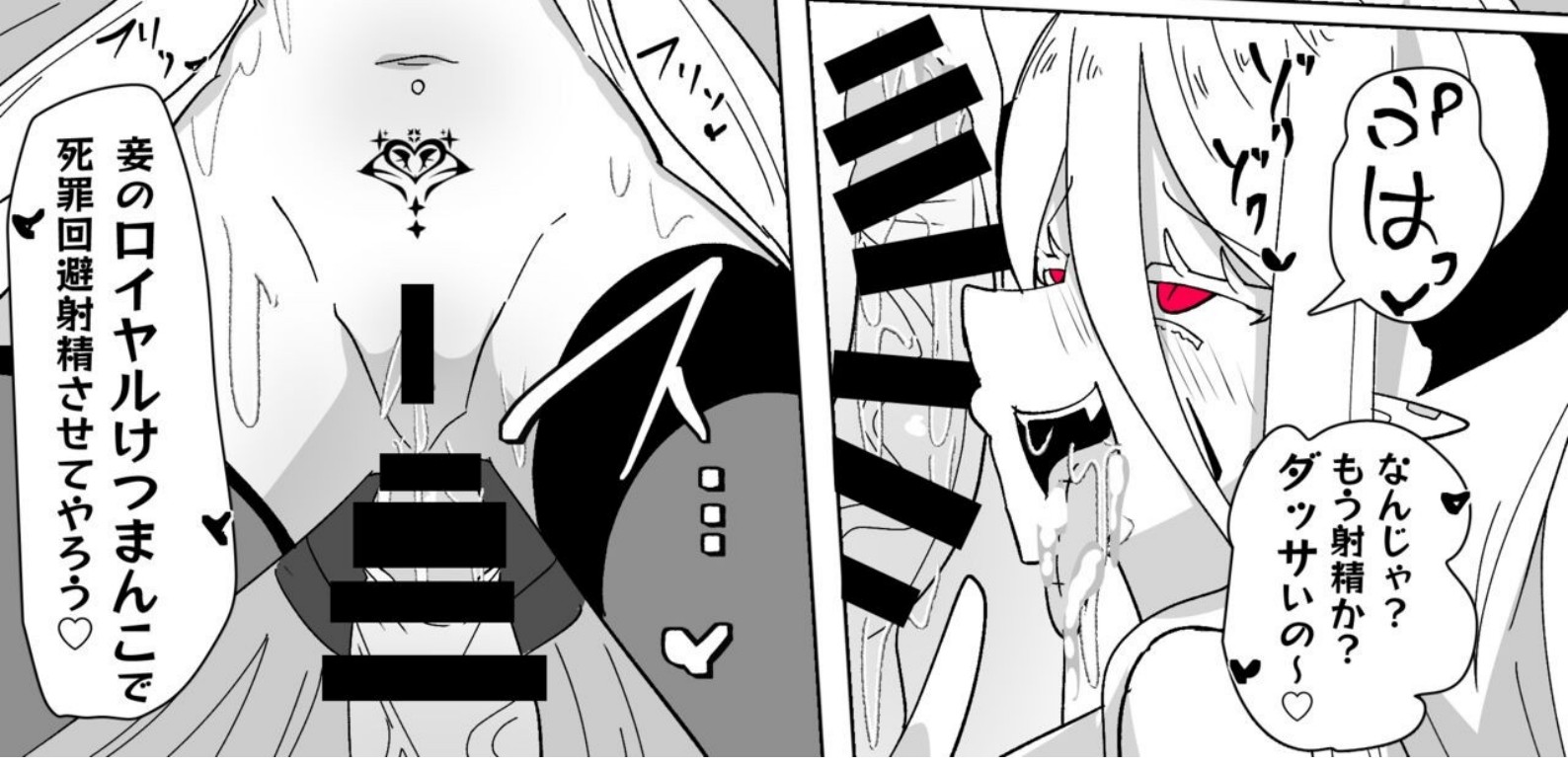
口の中…!!
とろとろで熱くて
蠢いてえっ…!!

やばっ…



頑張らねば肅清じゃぞ♡
精液のせめぬザゴ♡は
帝国にはいらん♡

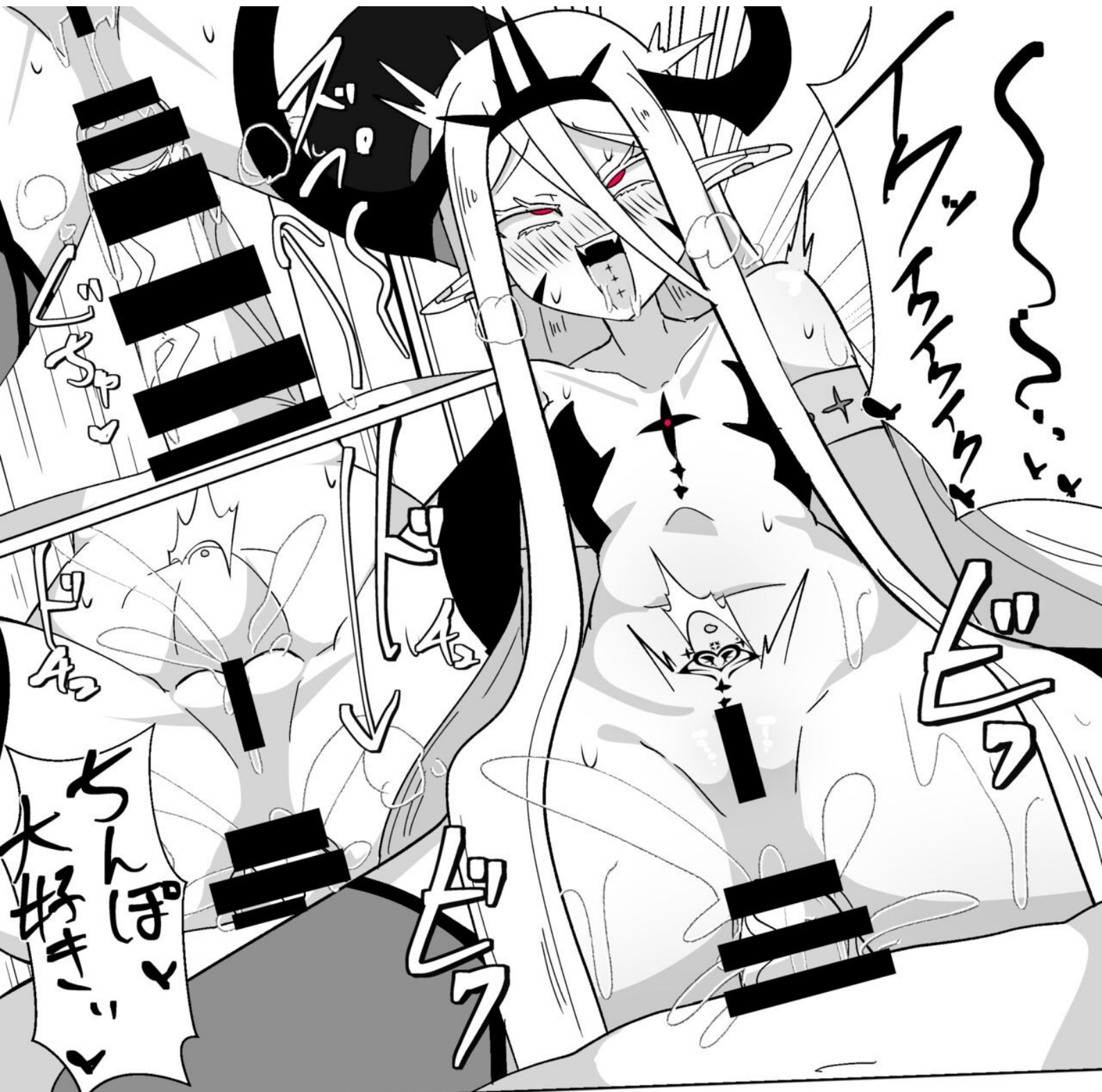
アッ



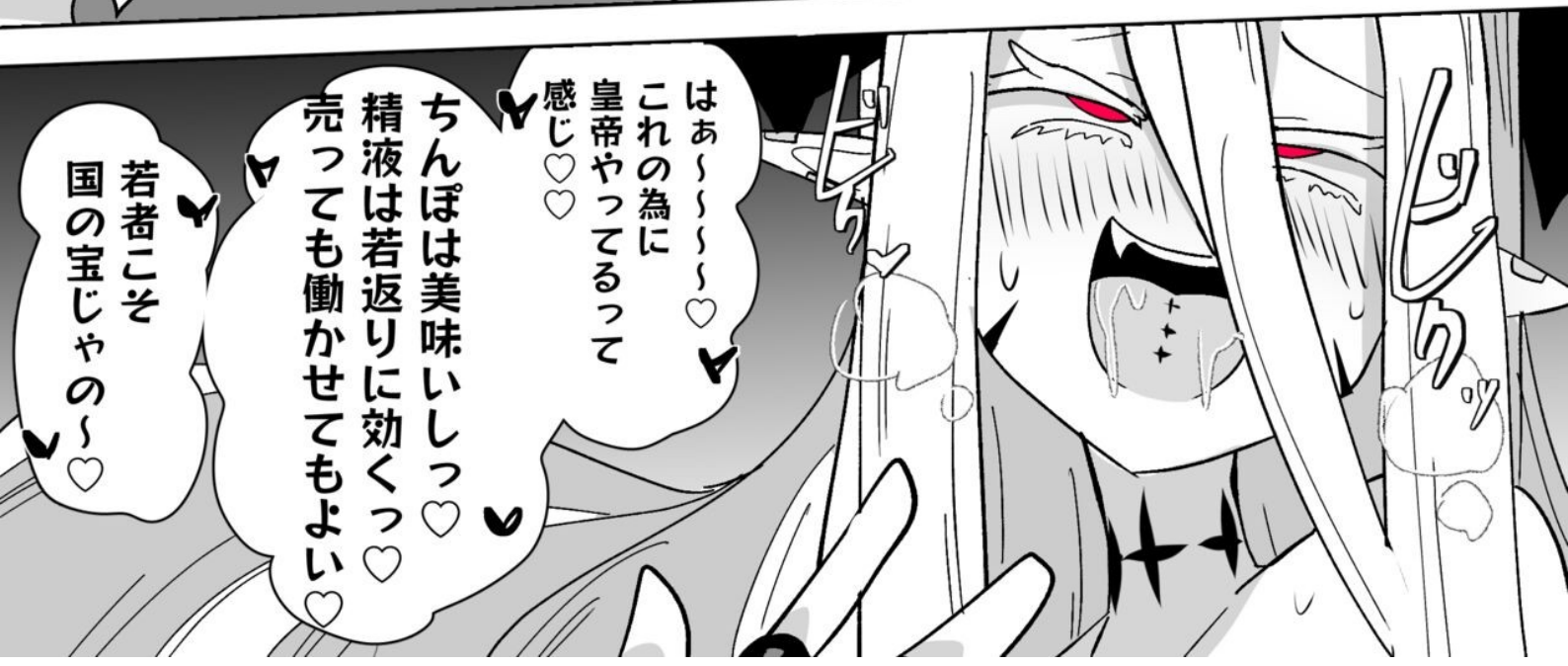
なんじゃ?
もう射精か?
ダッサいの♡

アッ
アッ
アッ

妾のロイヤルけつまんこで
死罪回避射精させてやろう♡



ちんぽ大好キ！



はあ~~~~~♡♡♡
この為に
皇帝やってるって
感じ♡♡♡

ちんぽは美味いし♡♡
精液は若返りに効く♡♡
売っても働かせてもよい♡♡

若者こそ
国の宝じゃの♡♡



あゝ楽しかった♡
そうじゃなあゝ♡
そなた等はのうゝ…

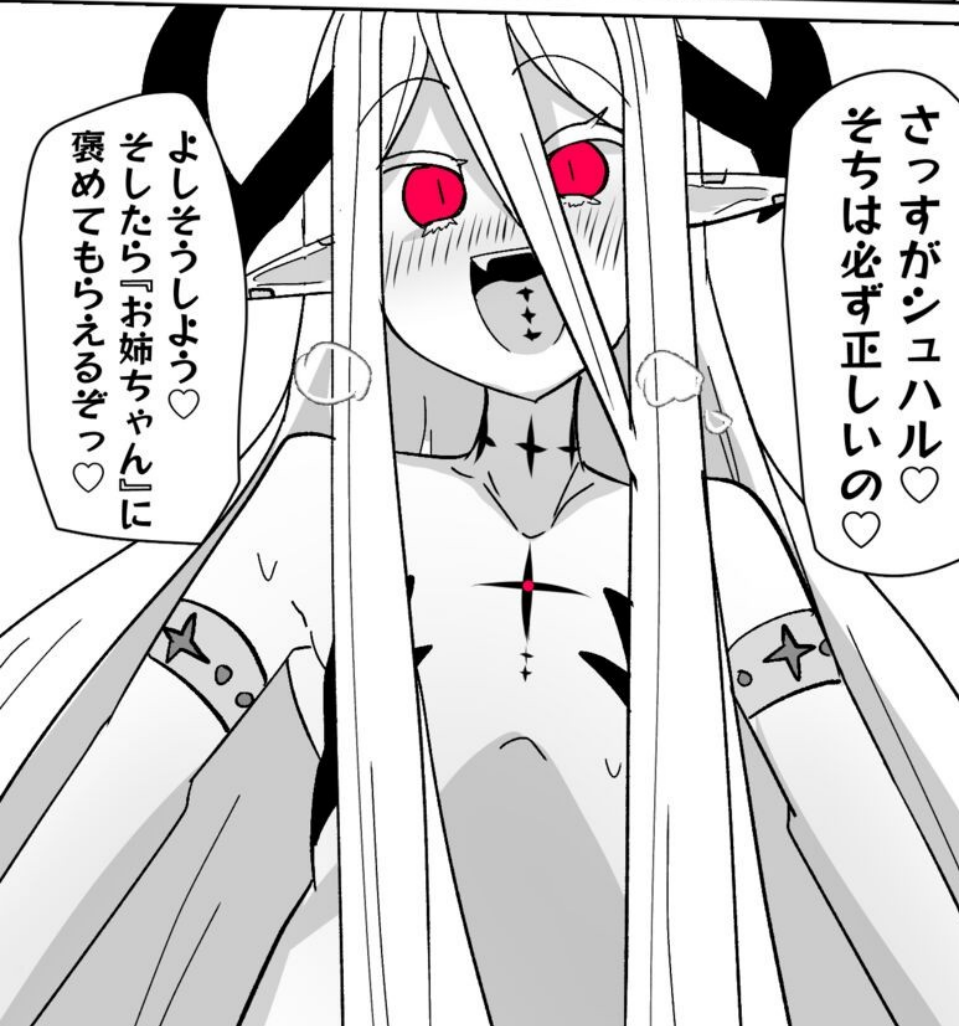
ゴホキ…

ごほう
ごほう



僭越ながら陛下…♡
先程メルト様とだあく様が
お越しになりました♡

彼等をメルト様の
実験用ペットとして提供
すればよろしいかと♡



さっすがシユハル♡
そちは必ず正しいの♡

よしぞうしよ♡
そしたら『お姉ちゃん』に
褒めてもらえるぞ♡

いらん♡
ころせ♡

あらあら〜♡
お二人は本当に
仲良しですね♡

しゅわん
ちゃっぴい♡

じゅわん
ちゃっぴい♡

実は…邪竜ファバナルが
七剣将ゼイトス様により
討伐されました

妾とお姉ちゃんは
らぶらぶ姉妹じゃからのっ♡
…で要件は？

陛下が後を継ぎ
次代ファバナルを
襲名なさるなら…

…は!?何を…
息子の仇じゃぞ!!
どれほど憎いと…

聞いたかシュハル!!
魔神様が妾の夢を
叶えてくださるぞ♡♡

妾の帝国は安泰♡
魔神様に脅かされぬ♡
妾はずっと♡皇帝っ♡
妾は器が大きいゆえ♡
仇なんぞこだわらぬ♡

魔神様より魔皇の位と
帝国全都市の不可侵を
約束なさると…

フバロ三世

→邪竜ファバナール

♂→♀

二つ名:赤炎帝→魔皇

クラス:皇帝

→【魔職】邪竜魔皇

種族:人間→竜人(魔族)

ソウル属性:善→悪

筋力A+(竜の膂力)

生命力S(精液があれば不老不死)

王の素質:F-(最低値)

呪い:

『竜の血』

人格が竜化する/驚異的な生命力

『淫魔の劣情』

常に発情し思考力低下/精液中毒

夢:自分の帝国の永久の繁栄♡

妾こそ魔神様の侵略を
終わらせた救世主♡

偉大なる邪竜の魔皇♡
ファバナールじゃっ♡

はまー…

はまー…

はまー